



© NEC Platforms, Ltd. 2017-2023 NECプラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く 範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場 合、以下のような問題が発生する可能性があります。

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し

ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報

等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし

個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)

特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)

傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん) コンピュータウィルス等を流しデータやシステムを破壊する(破壊)

等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設 定を行い、製品を使用することをお奨めします。 セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、

当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。 なお、無線LANをより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キーは初期値から変更してください。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは「Wi-Fi 詳細設定」の画面で変更してください。

メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について

メンテナンスパージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でパージョ 「重要な更新」とは、NECプラットフォームズ株式会社(以下「当社」とします。)が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバ ジョンアップが必須と判断した場合(例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など)を示します。重要な更新があ る場合は、当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。 3%3日は、当社が、ムインラの「愛師に関めされると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従 メンテナンスバージョンアップ機能が開始されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従 量制課金契約の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発

た通信費用はお客様ご負担となります +20に通信資料はの客なと見たとなります。 本機能では、本商品に関する情報のうち、本機能が動作するために必要な最小限度の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサー バへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。 また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきま

しても、当社の取り扱い手続き同様に適切な管理を実施します。 本機能は、工場出荷時に有効(「ON」)になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、下記手順で機能を無効(「OFF」) にしてください。ただし、本機能を無効にした場合、セキュリティ上の不具合を改善するような重要なソフトウェアの更新であっても、 自動的にパージョンアップは行いません。改善前のソフトウェアをそのまま使用し続ける場合、悪意のある第三者から不正なアクセスを

<無効にする方法>①クイック設定 Web を起動する (← 右記「クイック設定 Web の起動方法」) ②ホーム画面の [詳細な項目を表示] ー [詳細設定] ー 「その他の設定」を選択する ※ ブリッジモードで使用する場合は、ホーム画面の「基本設定」ー「基本設定」を選択します。 ※ 中継機/子機として使用する場合は、ホーム画面の「基本設定」ー「基本設定」を選択します。 ③「メンテナンスパージョンアップ機能」を「OFF」にする ④[設定]をクリックする

●本商品は、技術基準適合証明を受けています。

●IEEE802.11ac、IEEE802.11n(5GHz 帯)、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、 5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。 ●5GHz帯で使用するチャネルは36,40,44,48ch (W52)と52,56,60,64ch (W53)と100,104,108,112,116,120

124,128,132,136,140ch (W56) です。従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch (J52) の装置と IEEE802.11a (5.2GHz 帯 /36.40.44.48ch)

·W52 (5.2GHz帯/36,40,44,48ch) W53 (5.3GHz帯/52,56,60,64ch)

W56 (5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch) が利用できます。 5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。

W52 (5.2GHz帯/36,40,44,48ch) W53 (5.3GHz帯/52,56,60,64ch)

·W56 (5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)

●W53 (52,56,60,64ch) または W56 (100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch) を選択した場合は、法令 により次のような制限事項があります。

・各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません

通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります ●IEEE802.11n(2.4GHz 帯)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数 帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体

識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。 (1)本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。 (2)万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変

えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください (3)その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Atermインフォメーションセンターにお問い合わせください。

●IEEE802.11n(2.4GHz 帯)、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体 識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



 2.4 DS/OF 4
 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す

 DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を示す

 想定される干渉距離が 400m 以下であることを示す

 ・ 想定される干渉距離が 400m 以下であることを示す

■■■ :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す

●本商品を 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨さ

「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれ

ただし、無線LAN以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の1,6,11ch以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。(使用チャネルの設定方法はユーザーズマニュアル)を参照してください。)

●デュアルチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。 • デュアルチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前

• 万一 、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用 することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に 近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

高調波電流抑制対策について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本商品本体のラベルに記載の図記号説明

本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスさ れるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL にしたがい、複製、頒 布および改変することができます。詳細はユーザーズマニュアルを参照してください。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊 社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。 本製品の輸出(非居住者への役務提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な 手続きをお取りください ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相

廃棄方法について

談ください。

本商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。 本商品に接続した端末の情報や、ご利用開始時の状態から変更した無線の暗号化キーなどの情報が、第三者に漏洩しないよう、本商品を 初期化してから廃棄することをお勧めします。(故障等で初期化ができない場合を除く)

ご注意

-) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
-) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連 絡ください。 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋
- 経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。 セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場
- 合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態(例えば落雷や漏電など)により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説 明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えられるトラブルとその対処を下記に記載します。

- ※ この他にサポートデスク (● 右記「お問い合わせ・保守サポート」) にある「Q&A」でもさまざまなトラブルと対処を掲載しています ので、そちらもあわせて参照してください。
- ※ 解決しない場合は、本商品を初期化(● 下記「初期化方法」)し、はじめから設定し直してお試しください。
- CATV(ケーブルテレビ)回線を使用しているが、ACTIVE ランプが点灯せず、インターネットに接続できない

ご使用のモデムによっては、過去に接続したネットワーク機器の MAC アドレスを記憶しているため、モデムの設定をリセットする必 要があります。本商品、モデムの順番で電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直します。詳しくは、ご利用のケーブルテレビ会社 へご確認ください。

■ ACTIVE ランプが橙色に点灯している

故障や通信エラーではありません。ブリッジモード(ルータ機能停止)で動作している状態です。(本商品を中継機/子機として使用 する場合は、親機と 5GHz 帯の Wi-Fi で接続している状態です。)

- クイック設定 Web が開かない
- ●ご使用のパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場 合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
- ●Web ブラウザの設定で JavaScript、Cookie および SessionStorage を無効に設定している場合は、有効に設定してください。 ●Web ブラウザの設定でキャッシュを使用している場合、キャッシュの削除をお試しください。
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。



3 本商品から AC アダプタのプラグを取り外して、10 秒以上待ってから差し込む 4約1分20秒待つ

※側面(表)のランプが一斉に緑点滅したあと、POWERランプが緑点灯したら初 期化が完了します。本商品が起動するまでしばらくお待ちください。





■ ホームページ「サポートデスク」

・Atermの機能、操作、設定についてご不明な点がある場合は、サポートデスクを参照してください サポート情報の閲覧やソフトウェアのダウンロード、「Q&A」でご不明な点の検索などができます。 「故障かな?」と思われた場合は、本書に記載の「トラブルシューティング」をご確認ください。 ・Aterm インフォメーションセンターの窓口については、サポートデスクの「お問い合わせ」をご確認ください。

■ 保守サポート期間

- ております
- 照してください。





https://www.aterm.jp/support/wg1200cr/index.html



・本商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品、以下、保守部品)は、販売終了後、約5年間保有し

保守部品の保有期間(以下、保守期間)が終了しますと、修理受付や添付品の販売受付も終了いたします。 また、電話などによるお問い合わせサポート業務も終了させていただきます。あらかじめご了承ください。 保守期間の確認は、「Atermの修理期間について (https://www.aterm.jp/support/inquiry/hoshu_list.html)」を参

